



澆刺颯爽 栄中

～熱意・誠意・鍛錬～ ホームページはこちら

目指す生徒像
礼儀正しく、
本気でやり遂げる生徒
～あはれの学校～



令和8年2月2日 第10号 生徒数 1年191名 2年165名 3年149名 計505名

白銀の世界に広がった絆

教頭 須賀 一永

1月27日(火)から3日間、1年生は群馬県利根郡みなかみ町の藤原スキー場にスキー教室に行ってきました。夏休みから学年職員が入念に準備を進め、2学期には生徒による実行委員会を立ち上げ、スキー教室のきまりの大枠を作成した後、各クラスに持ち帰って全体討議を行う等、生徒の主体性を重んじながら取り組んできました。スローガンは生徒の応募の中から、「百雪不撓～白銀の世界に広がる青学年の絆～」に決まりました。これは、何度失敗しても屈しない「百折不撓(ひやくせつふとう)」を参考にしたものです。大相撲で横綱昇進が決まった力士が使いそうな難しい言葉をよく知っているなど、感心しました。また、雪景色を「白銀の世界」と表現するなど、栄中の生徒は、きっと本をたくさん読んでいて、表現力が豊かなんだと嬉しくもなりました。

初日のバスでは、スキー場にだいたい近づいた藤原ダムを通過した際、「すごい!川が凍っている!三郷と全然違う!」という声が聞こえてきました。多くの生徒がスキー未経験。日常とは違う別世界に生徒たちは初日からドキドキ、ワクワクの連続でした。

スキー実習は初日のほんの始めだけ青空で、あとは3日間雪がしんと降り中での講習となり、コンディションがよい状況ではありませんでした。にもかかわらず、生徒は楽しそうに実習に取り組んでいました。そして、呑み込みの早いこと!これはスキー教室に行くたびに思うことなのですが、インストラクターの指導技術ってすごいなと感心してしまいます。私は仲間とスキー場に行き、転んで滑って転んでを繰り返しているうちに、気が付いたら滑れるようになってしまったので、きちんとしたスキー技術の基本を身につけたいと常に思っています。話は脱線してしまいましたが、2日目午後の実習の後、およそ1時間のフリー滑走の時間を取ったのですが、ほとんどの生徒がリフトに乗り込み、仲間と楽しく滑っていました。2日目の夕食の時間に男子生徒の集団に「現時点で、何が一番楽しかった?」と尋ねたら、ほとんどの生徒が力強く「フリー滑走!」と答えていました。また、事前のアンケートで「スキーは未経験で、実習が不安」と答えていた女子生徒にも「スキーやってみてどうだった?」と尋ねたところ、「はじめは不安だったけど、どんどん滑れるようになってとても楽しい。」と答えていました。最後に、実行委員長の女子生徒に「今のところ、スキー教室どう?順調?」と尋ねたところ、「はい。楽しいです。この後もみんなと協力してスキー教室を成功させます。」と頼もしい答えが返ってきました。

今回のスキー教室は先生方と生徒の頑張りで多くの人が「やった!できた!この経験を次回に活かそう!」と思える行事になったと思います。確かに白銀の世界に青学年の絆は広まりましたよね。この成功体験をこれからの生活に活かせることを期待しています。

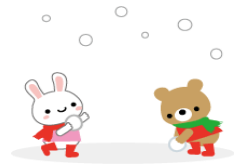
保護者の皆様、準備や生徒の健康管理にご協力いただきまして、ありがとうございました。今後もよろしくお願いたします。

2月・3月の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/1	2	3	4	5	6	7
		なし日程 千葉県公立高校出願(～5日まで郵送による受付)	ノー部活動デー	テスト日程 1,2年実力テスト	漢検 実力再試 Jアワード試験 放送	
8	9	10	11	12	13	14
みさとシティ イハーフマ ラン	栄中ギネス①	栄中ギネス② 千葉県公立志願・希 望変更	建国記念の日	なし日程 栄中ギネス③ 中央委員会 千葉県公立志願・希 望変更	埼玉県公立高校出 願(配慮指定日)	数検
15	16	17	18	19	20	21
グランドゴ ルフ	埼玉県公立高校出 願(持参) 生徒集会・表彰	3年学年末テスト テスト日程 千葉県公立学力検 査 新入生説明会 埼玉県公立高校出 願(持参・午前)	3年学年末テスト テスト日程 埼玉県公立志願先 変更 千葉県公立学力検 査・学校設定検査 ノー部活動デー	なし日程 3年学年末再試 5時間授業 埼玉県公立志願先 変更 12346 授業	3年学年末再試	諸活動停止 (～/26)
22	23	24	25	26	27	28
グランドゴ ルフ予備日	天皇誕生日		ノー部活動デー ふれあいデー	1,2年学年末テス ト テスト日程 埼玉県公立高校学 力検査 千葉県公立追検査	1,2年学年末テス ト テスト日程 埼玉県公立高校実 技・面接	
3/1	2	3	4	5	6	7
	1,2年学年末再試	1,2年学年末再試 埼玉県公立追検査 千葉県公立発表	ノー部活動デー	なし日程 専門委員会 1,2年卒業式練習	埼玉県公立発表	
8	9	10	11	12	13	14
	卒業式全体練習	なし日程 3年生生きる講演会	ノー部活動デー 3年給食終了 卒業式予行・結び会	なし日程 卒業式全体練習 卒業式準備	卒業証書授与式	
15	16	17	18	19	20	21
	卒業式片付け	5時間授業 1年保護者会	ノー部活動デー 5時間授業 2年保護者会	なし日程 4時間授業 1,2年給食終了	春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
	なし日程 3時間授業	なし日程 3時間授業	ノー部活動デー ふれあいデー なし日程 3時間授業	修了式	学年末休業	
29	30	31	4/1	2	3	4
		先生方とお別れ の会	春季休業	※準備登校は4月7日、入学式・始業式は4月8日になります。		

スキー教室

1月27日(火)~29日(木) 群馬県みなかみ町藤原スキー場



令和7年度 学校評価

評価結果については4を満点として評価したものの平均値を記載しています。

令和6年度 三郷市学校評価システム 本評価: 学校関係者評価シート				
評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.58	3.55
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.46	
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.42	
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.35	3.88
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.81	
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.69	
授業等の状況	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.08	
	8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.27	
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.54	
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.35	3.55
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.63	3.88
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.58	4.00
健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.54	
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.38	3.33
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道德教育の改善に取り組むとともに道德教育を積極的に推進している。	3.46	
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力・心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.54	
生徒指導	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.50	
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.27	3.55
	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.23	
	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.65	
安心・安全	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.73	
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.77	4.00
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.62	
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.73	3.77
教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.30	3.44
	26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.19	
家庭地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.59	4.00
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.27	3.33
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.65	4.00

学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え

・「差別撤廃」～熱意・誠意・徹底～を学校目標として掲げている。校長の経営方針に沿って、運営委員会を中心とした各組織が連携し、教育活動を行っている。

学校の自己評価や各行事の終了後に行われる振り返りから成果・課題を洗い出し、必要に応じて分掌会や運営委員会、全体で協議している。

ボランティアやキャリア教育、社会に目を向けさせる教育としてNIE教育を今年度も引き続き推進した。年5回、数誌の新聞購読し、読み比べをすることで新聞の良さを知り、新聞を通して社会情勢に興味関心を持つ習慣を身につけさせる工夫を行っている。

・資料や書籍等を活用し、自らの夢を実現する方法を体験させている。また、様々なコンクール(新聞コンクール・家庭読書・社会を明るくする運動・人権作文・読める学習コンクール等)に参加しチャレンジする精神を醸成している。コロナで中断していた学校の「職場体験」を復活させ、3学年では保護者同伴で「進路セミナー」を開催したり等、夢を育む教育に取り組んでいる。

毎月定期に行われる倫理確立委員会のほかに、報道等でのリアルタイムな情報を活用し、全職員に不祥事根絶を自分事として捉え、本校から教職員事故を起こさないように日常的に指導している。その基盤として、教職員の心身の健康に配慮し、安心して働ける環境づくりを心がけている。

年間計画に基づきながら、学習・研修部会を中心に、本校の実情を分析しながら、適切な課題を取り上げて研修に取り組んでいる。

今年度より月1回行っている「表現カステラ」ではタブレットを活用している。授業でのタブレットの活用は定着してきたが、今後はより効果的なICT機器の活用ができる研修を行っている。

いずれの教科でも仲間と協働したり、繰り返し取り組めるような授業展開の工夫を行った。また、三郷市の授業振り返りチェック10を意識し、授業を行い、県の学力・学習状況調査ではいずれの学年も正答率が県平均を上回っている。

年度当初に「授業の心得」をもとに授業規律についての教員の共通理解を図っている。また、授業オリエンテーションにおける授業の心得の確認や、毎回の授業評価を継続することで、授業規律を守る意識を高めている。

・校長の指導の下、環境整備や掲示物に配慮している。おおむね落ち着いた雰囲気の中で授業が展開できているが、落ち着いた様子が見られず、児童生徒指導部会に回り、全校集会やオンライン集会を開き、その都度指導を行った。

メディアセンターの充実、司書の活用、授業での活用により、読書活動の推進を図っている。学年が上がるにつれ、図書数の利用が滞る課題に対して、生徒が興味を持って読書に取り組めるよう、本の配置や新刊本の見やすい紹介等、利用しやすい環境を整備している。

朝読書、教職員おすそめの本の学校だよりでの紹介は継続している。貸出冊数は2学期末で、1人22.1冊、レファレンスは109件である。

家庭科の授業を中心として規則正しい食事の大切さを理解させている。また、給食時間を利用して栄養技術による食育指導を定期的に行っている。給食委員会からも食の大切さを発信している。

保健体育の授業では、運動の楽しさを味わわせるような工夫をしている。また、実中ギネス(体力測定)の取り組みを継続し、自己の記録を伸ばそうと積極的に取り組んでいる生徒もみられる。

学年担当職員全員によるローテーション道徳を実施している。指導事項の確かな指導とともに、教職員の持ち味を活かした授業を行っている。また、道徳主任が中心となり、外部から講師を招聘して研修を行った。

道徳の授業のみではなく、ボランティア活動や善行を行った生徒を表彰する校長賞など、学校教育全体を通して、よりよく生きるための道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度の育成に努めている。

教職員の言葉遣い等、生徒の手本となるような指導を日常的に行っている。その結果、昨年よりも評価が上がった。

生徒会本部、保護者、地域の方々による朝のあいさつ運動で、あいさつができる生徒は多い。しかし、地域の方々からもしっかりあいさつができるよう指導してほしいと指摘されたこともあった。今後は「しっかりと」あいさつができるよう指導していく必要がある。

生徒が場に応じた言葉遣いができる指導は不足している。時と場に応じた言葉遣いができるよう、指導していく必要がある。

校長の指導の下、生徒指導部会、教育相談部会等の組織を中心に対応を行っている。ケースにより関係機関とも連携を行っている。

担任や学年担当教員が保護者とこまめに連携をとって、保護者と連携しながら生徒への対応や指導に当たっている。また、必要に応じて関係機関とも連携して対応している。

毎月行っている「心と体の安全点検」(アンケート)を活用し、日々の生徒の様子を見ながら対応している。今後は生徒指導部と教育相談部の連携をさらに強化し、いじめの早期対応ができる体制を構築していく。

危機管理マニュアルを作成し、生徒の安全確保、不審者対応、地震対応、落雷、大雨対応、電巻突風、アナフィラキシー対応にも対応できる体制を整えている。

施設・設備等の破損に関して、職員の意識が高く、素早く管理側に報告し上がってきている。今後は、定期的な安全点検が形式的にならないよう配慮する。また、生徒の交通事故防止に関する呼びかけは、校長の指導の下、日常的に行っている。

校舎の建築年数のわりには、清掃をしっかり行うことで、校舎内はきれいな状態が維持できている。また、環境担当が、長期休業中に清掃業者を招聘し、教職員を対象に清掃に関する研修を行う等、清掃をしっかり行わせようとする意識は高い。一方で、行事との兼ね合いで、清掃時間を確保できない日が多くなっている。

全体として教職員の時間外在校時間は減少傾向にある。今後さらに、教職員一人一人をより丁寧に見取り、やりがいを持って生徒と向き合えるために分掌等を見直し、働き方改革を進める。

ホームページで、学校生活の様子を週に3日以上伝えている。

コロナで中断した学校応援団の活動を再開し始めた1年となった。学校公開日や宝物館利用禁止教室に本校のいたいた際に、学校応援団の活動のあり方を話し合い、中断していた除草作業が復活できた。

資源回収日に合わせて、ボランティアによる除草作業を行い、多くの教職員が参加している。